

# CASIO

## HANDY TERMINAL DT-300

### 取扱説明書

- このたびは、カシオハンディターミナルDT-300をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
- この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますので、ご使用前にひと通りお読みください。
- 本機をご使用になる前に必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 保証書は記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



# 安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになったあとも大切に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は破裂注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

## 危険

### ■ アルカリ電池の取り扱いについて



- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、すぐに医師の治療を受けてください。

## 警告

### ■ アルカリ電池の取り扱いについて



- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液を舐めた場合には、すぐにうがいをし医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



- 電池の⊕と⊖を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池を変形させないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

## 警告

### ■ 分解・改造しないでください



- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

### ■ 機器内部には触れないでください



- 高圧部には、絶対に手を触れないでください。感電の原因となります。

### ■ 異常状態で使用しないでください



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
すぐに電源スイッチを切り、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

### ■ 異物が中に入ったときは



- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ■ 落としたり、破損したときは



- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ■ 水などがかからないようにしてください



- ハンディターミナル本体は防沫仕様ですが、オプションのI/Oボックス等は防沫仕様ではありませんので、水などの入った容器または金属物を置かないでください。  
また、ハンディターミナルを濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

### ■ レーザ光をのぞき込まないでください



- 本機は、レーザー光でスキャンします。  
レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

## 警告

### ■ 別売のI/Oボックスについて



- 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。



- ACアダプタは必ず専用品をお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## 注意

### ■ アルカリ電池の取り扱いについて



- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 長時間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、機器を破損させるおそれがあります。



- 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内等の高温の場所で使用、放置しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- 電池を水などで濡らさないでください。電池を発熱させるおそれがあります。

## 注意

### ■ アルカリ電池の取り扱いについて



- 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- この電池は、一般の不燃ゴミとして処理してもよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合は、条例に従って廃棄してください。

### ■重要なデータは控えをとっておいてください。



- 本機の使用および故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、破損したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社では一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電池を消耗したまま放置したり、電池交換の方法や主電池・副電池の取り扱いを誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり、破損することがあります。一旦失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください(別売のI/Oボックスを利用してパソコンにデータを転送するなど)。

### ■異物が入らないようにしてください



- 通風孔などから内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

### ■設置場所について



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

### ■本機の上に重いものを置かないでください



- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### ■表示画面の取り扱いについて



- 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
  - ・万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
  - ・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

## 注意

### ■ AC電源の使用について



- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



- 製品本体を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

### ■ ACアダプタについて



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



- ACアダプタは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ACアダプタにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

- ・ 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ・ 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別紙資料をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### ●本製品の使用後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

DeepCore™はリンク・エボリューション社の商標です。

IrDA Protocol Stack「DeepCore™」© Link Evolution Corp. All right Reserved.

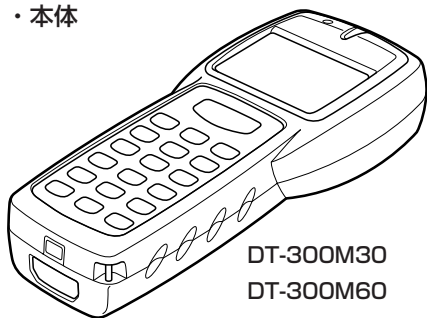


安全上のご注意 .....	2
付属品の確認 .....	10
はじめに .....	11
お取り扱い上の注意 .....	11
保証およびサービスについて .....	11
本機のシステム体系図 .....	12
各部の名称とはたらき .....	13
電池の入れ方／はずし方 .....	14
電源の確保 .....	14
主電池(単3形アルカリ乾電池)の入れ方／はずし方 .....	15
液晶ディスプレイについて .....	16
ハンドストラップの取り付け .....	17
キーの配列とはたらき .....	18
ストロークキーの配列とはたらき .....	18
バーコードリーダーの取り扱い .....	19
バーコードリーダーの使用法 .....	19
警告ラベルについて .....	20
バーコードをスキャンする位置 .....	20
データ通信について .....	21
本体間通信 .....	21
DT-300の仕様 .....	22
I/Oボックスの取り扱い .....	23
各部の名称とはたらき .....	24
I/Oボックスの電源の取り付け方と接続 .....	26
I/Oボックス2台以上の接続 .....	28
DIPスイッチの設定 .....	30
I/Oボックスの仕様 .....	31

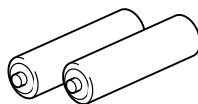
# ■ 付属品の確認

お買い上げいただいた本装置の梱包内容は、下記のとおりです。ご確認の上、万一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

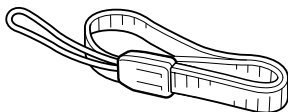
- ・ 本体



- ・ 主電池（単3形アルカリ乾電池 2本）



- ・ ハンドストラップ



- ・ 取扱説明書（本書）

- ・ 保証書

本機を末永くご愛用いただくために、次の点にご留意の上、ご使用ください。

## お取り扱い上の注意

- ・ ストロークキーは必ず指か先の柔らかく丸いもので入力してください。  
先のとがったものを使用すると、ストロークキーの損傷や内部回路の断線を起こすことがあります。
- ・ 本機のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。水拭きしたり、シンナーやベンジンなどの揮発性の液体によるお手入れはケースやキーの変形、劣化を招きますので絶対に行なわないでください。
- ・ 本機のおもて面を下に向けて置かないでください。電源がONのとき、キーが押された状態になり、故障の原因となります。
- ・ 急激な温度変化によりケース表面が結露した場合、そのまま使用すると誤動作することがありますので、結露させないようご注意ください。結露した場合は、結露が消えるまで使用をさしひかえてください。

## 保証およびサービスについて

- ・ 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「販売店名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店に申し出て記入してください。
- ・ 万一故障した場合は、機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの販売店までご連絡ください。
- ・ 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

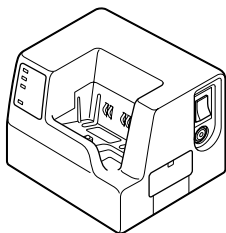
# 本機のシステム体系図



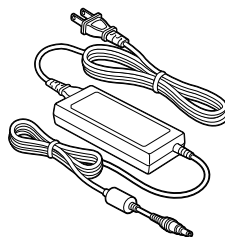
DT-300M30/M60

## オプション

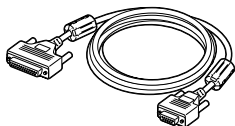
### I/Oボックス DT-365IO



### I/Oボックス用ACアダプタ

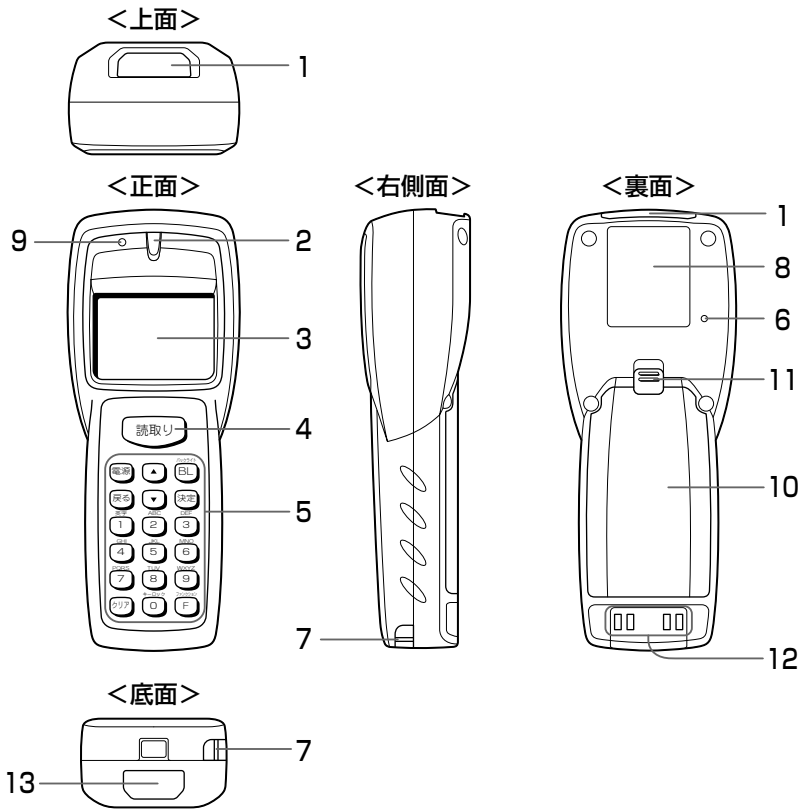


### I/Oボックス用ケーブル



RS-232Cケーブル	DT-887AX/AXA	I/OボックスPC接続用ケーブル	9pinメス
RS-232Cケーブル	DT-882RSC	I/OボックスPC接続用ケーブル	25pinオス
RS-232Cケーブル	DT-883RSC	I/OボックスPC接続用ケーブル	25pinメス
RS-422ケーブル	DT-888RSC	I/Oボックス連鎖接続用	
USBケーブル	DT-380USB	I/OボックスPC接続用ケーブル	

# 各部の名称とはたらき



1	バーコード読み取り口	この窓からレーザ光が照射され、バーコードを読み取ります。
2	読み込み動作表示LED	動作状態を表示します。緑：読み取り正常。赤：読み取りエラー*
3	液晶ディスプレイ	プログラム実行時などにその内容を表示する液晶ディスプレイです。
4	読取りキー	バーコード読み取り操作キーです。
5	ストロークキー	電源キー、ファンクションキーなど18キーを装備しています。
6	イニシャライズキー	小穴の奥にあり、本機の内部状態を初期化(リセット)するときに、このキーをのぼしたクリップなどの細いピンで押します。
7	ハンドストラップ取り付け部	ハンドストラップを取り付ける金具です。
8	レーザ光警告ラベル	クラス2レーザ製品の警告ラベルです。
9	ブザー	操作した確認音などを発します。ブザーの穴をふさぐと、音量が小さくなりますので注意してください。また、ブザーの穴に細いピンなどの異物を挿入しないでください。故障の原因となります。
10	主電池格納部	主電池が格納されています。
11	主電池カバーロックスイッチ	主電池カバーがはずれないようにロックするスイッチです。主電池カバーをはずすと、電源は自動的に切れ電源を入れることはできません。
12	給電端子	I/Oボックスから電源を受ける端子です。
13	赤外線インタフェース(赤外線通信部)	非接触型赤外線通信部です。もう一台のDT-300、I/Oボックスなどの通信に使用します。

\* 赤を点灯させるようにするには設定が必要です。

# ■ 電池の入れ方／はずし方

## 電源の確保

本機の使用にあたっては、主電池(単3形アルカリ乾電池2個)を使用します。液晶ディスプレイ上に表示される電池残量が空(☐)になりましたら、速やかに単3形アルカリ乾電池を交換してください。



### ■ 重要なデータは控えをとっておいてください。



- ・本機には、充電式の副電池が内蔵されています。副電池はバックアップ用電源となっていますので、取り外すことはできません。副電池が消耗している状態で主電池を外すと、バックアップ時にデータが消えたり、変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください(別売のI/Oボックスを利用してパソコンにデータを転送するなど)。

### ■ 使用上のご注意

- ・主電池は、必ず単3形アルカリ乾電池を使用してください。
- ・副電池(バックアップ電源用)は取り外しできません。
- ・副電池(バックアップ電源用)が満充電の場合、主電池(単3形アルカリ乾電池2個)を外しても、約10日間バックアップを行うことができます。
- ・副電池(バックアップ電源用)は、主電池がセットされた状態において、4日間で満充電の状態になります。主電池を16時間セットしておく、副電池(バックアップ電源用)は約2日間バックアップを行える状態まで充電されます。

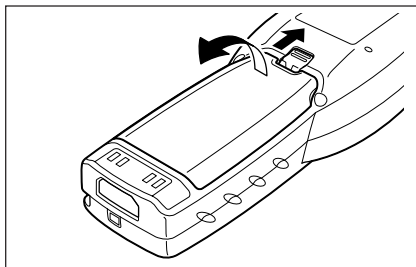
## 主電池(単3形アルカリ乾電池)の入れ方／はずし方

### 使用上のご注意

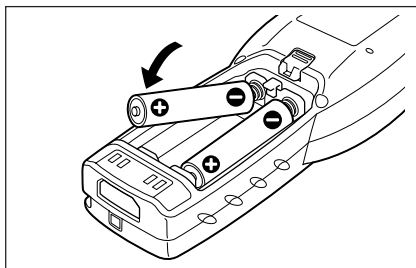
- ・ 単3形アルカリ乾電池は、極性(⊕と⊖の向き)に注意して入れてください。
- ・ 電池をはずす場合は、必ず電源をOFFにしてから取りはずしてください。
- ・ 長時間機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出してください。

### 入れ方・はずし方

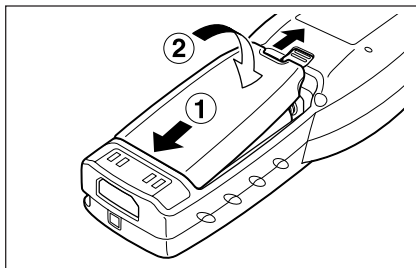
- 1 主電池カバーロックスイッチを上へスライドさせたまま、主電池カバーを取りはずします。



- 2 単3形アルカリ乾電池を図のような方向で装着します。



- 3 図のような順番で主電池カバーを本体に取り付けます。



# 液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイにはプログラムの内容や操作手順、演算結果などが表示されます。

## 1. 表示エリア

縦64ドット×横112ドット

## 2. 表示文字

12ドット、16ドット、20ドットの3モード

それぞれ3種類のフォントの混在が可能です。

	12ドットモード	16ドットモード	20ドットモード
縮小ANK	18桁×10行	14桁×8行	11桁×6行
半角	18桁×5行	14桁×4行	11桁×3行
漢字	9桁×5行	7桁×4行	5桁×3行

・ 文字種

英字、数字、カナ、記号

漢字 JIS 第1水準、第2水準

## 3. 表示効果

漢字、英数字、カナ、記号などすべての文字は太字にしたり反転などの効果を組み合わせることで表示することができます。

## 日付・時計機能

DT-300は時計機能を有し、プログラムへの活用をすることができます。



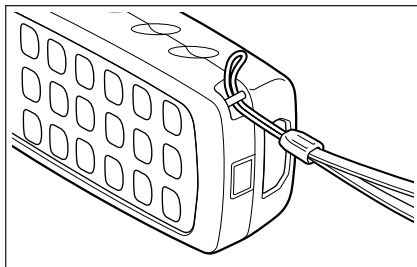
# ■ ハンドストラップの取り付け

本機は、持ち運びするときに落下防止用として、ハンドストラップが使用できますのでご利用ください。

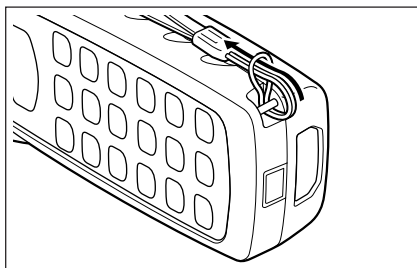
ハンドストラップを取り付けるときは、次の要領で取り付けてください。

## ハンドストラップの取り付け方

- 1 本体底側面のハンドストラップ取り付け部の金具に、ストラップの細い方を通します。



- 2 ハンド側をくぐらせて引っ張り、取り付けます。



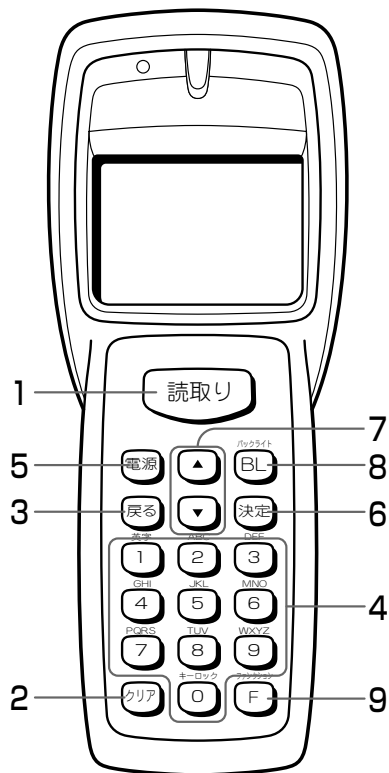
### 使用上のご注意

- ・ハンドストラップを持って本体をふりまわしたりしないでください。

# キーの配列とはたらき

本機のキー配列は、18個のストロークキーと1個の読取りキーで構成されています。

## ストロークキーの配列とはたらき

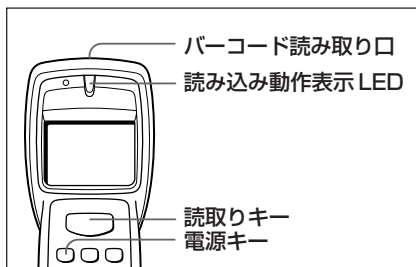


1	<b>読取りキー</b> バーコード読み取り操作キーです。
2	<b>クリアキー</b> 入力をキャンセルするキーです。
3	<b>戻るキー</b> カーソルの左の文字を削除するキーです。 設定を変更することによりバーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。
4	<b>数値キー</b> 数値入力モード：0～9を入力します。
5	<b>電源キー</b> 電源をON/OFFするキーです。
6	<b>決定キー</b> 入力確定キーです。
7	<b>カーソルキー</b> バーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。初期設定では次のようになっています。 ▲：液晶ディスプレイのコントラストを濃くする ▼：液晶ディスプレイのコントラストを薄くする
8	<b>バックライトキー</b> ：バックライト ON/OFF 設定を変更することによりバーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。
9	<b>ファンクションキー</b> バーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。初期設定ではスペースになっています。

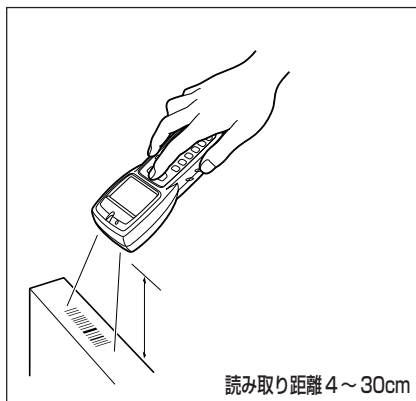
# ■ バーコードリーダーの取り扱い

## バーコードリーダーの使用方法

- 1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに向けて4cm以上離して、読み取りキーを押してください。



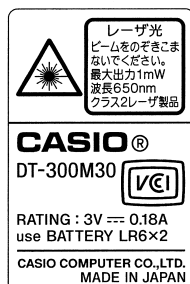
- 2 レーザが発光し、バーコードを読み取ります。読み取りが正常に完了すると、読み込み動作表示LEDが緑色に点灯します。



### 使用上のご注意

- ・読み取りができないときは、バーコードとハンディターミナルの角度を変えたり、距離を近づけて再度読み取ってください。
- ・読み取り口径よりも幅の広いバーコードの場合は、読み取り口をバーコードから少し離して読み取ってください。
- ・本製品は読み取り口をバーコードに接触した状態での読み取りができません。
- ・照射されたレーザー光の両端がちらついたり、レーザー光に平行にうすい別の線が見えたりすることがありますが読み取り性能に影響はありません。

## 警告ラベルについて



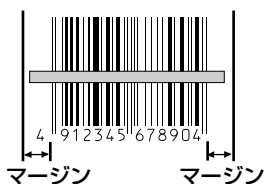
- ・このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザ製品の警告・注意ラベルです。
- ・クラス2レーザ光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- ・本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは、危険ですので絶対に行なわないでください。
- ・レーザ光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

\* このラベルはDT-300M30のものです

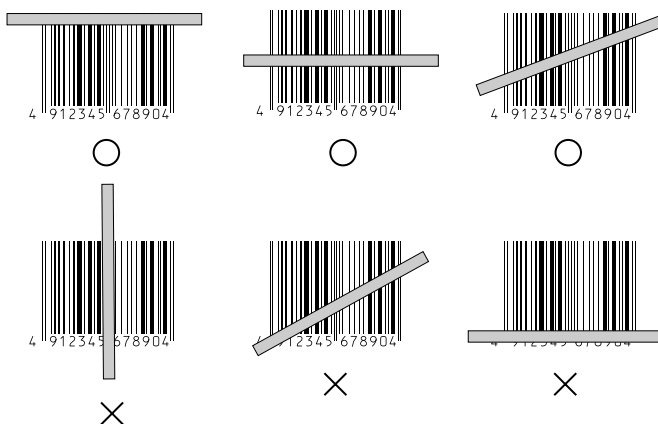
## バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、バーコードリーダを近づけてお使いください。

大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



(○印: 正しい位置  
×印: まちがった位置)



■ レーザ光をのぞき込まないでください。



・本機は、レーザ光でスキャンします。

レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

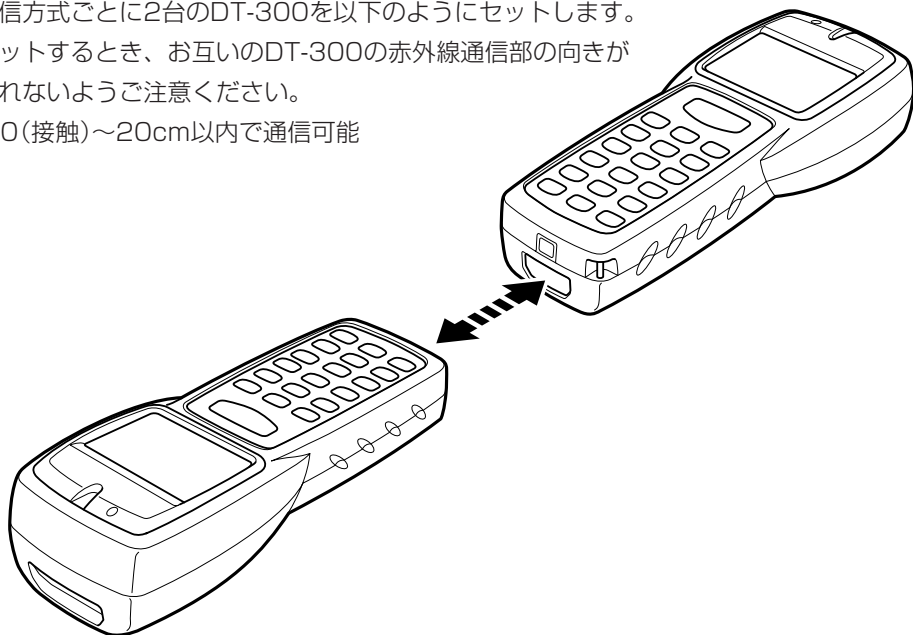
## 本体間通信

本体底面の赤外線通信部を使って、もう一台のDT-300へアプリケーションの転送やデータの移動などができます。

通信方式ごとに2台のDT-300を以下のようにセットします。

セットするとき、お互いのDT-300の赤外線通信部の向きがずれないようご注意ください。

0(接触)～20cm以内で通信可能



# DT-300の仕様

## 1. 本体部

CPU	:	32ビットRISCタイプ		
メモリ	:	M30	: RAM	: 2MB(ユーザー領域 1.3MB)
			F ROM	: 4MB(ユーザー領域 1.4MB)
	:	M60	: RAM	: 2MB(ユーザー領域 1.3MB)
			F ROM	: 8MB(ユーザー領域 5.9MB)

## 2. 表示部

表示方式	:	位相補償フィルム付STN液晶
表示容量	:	横112×縦64ドット
ディスプレイコントラスト調節	:	キー操作による調節
バックライト	:	LEDバックライト

## 3. レーザスキャナ部

読み取りコード	:	JAN、EAN、UPC、NW-7、CODE39、ITF、CODE93、CODE128 (EAN128)、MSI、Industrial 2 of 5、IATA
読み取り距離	:	約4～30cm以内

## 4. 入力部

ストロークキー	:	18個
読取りキー	:	1個

## 5. 赤外線通信部

インタフェース	:	赤外線インタフェース(非接触型)
規格	:	IrDA Ver1.1準拠
通信方式	:	半二重
同期方式	:	調歩同期
伝送速度	:	9,600bps、19,200bps、38,400bps、57,600bps、 115,200bps、4Mbps
通信距離	:	0～20cm

## 6. 電源部

主電池	:	単3形アルカリ乾電池 2個
主電池寿命	:	約190時間(単3形アルカリ乾電池を使用し、常温でバックライトオフの 状態で10秒間で2回バーコードを読み取った場合)
副電池	:	リチウム2次電池×1(内蔵型)
副電池寿命	:	約10日間(主電池がセットされた状態において、4日間で満充電となります)
オートパワーオフ機能	:	0～59分、1分単位で設定可

## 7. 外形寸法・重量

外形寸法	:	約40<54.4>(幅)×139.4(奥行)×24.4<34.4>(高さ)mm <>内は表示部、突起部は含まず
重量	:	約170g(電池含む)

## 8. 動作環境

動作温度	: -5~50℃
動作湿度	: 30~80%RH (結露なきこと)
防水性能	: JIS防沫形
落下強度	: 150cm

## 9. その他

時計機能	: 年・月・日・時・分、フルオートカレンダー
------	------------------------

# I/Oボックス(DT-365IO)の取り扱い

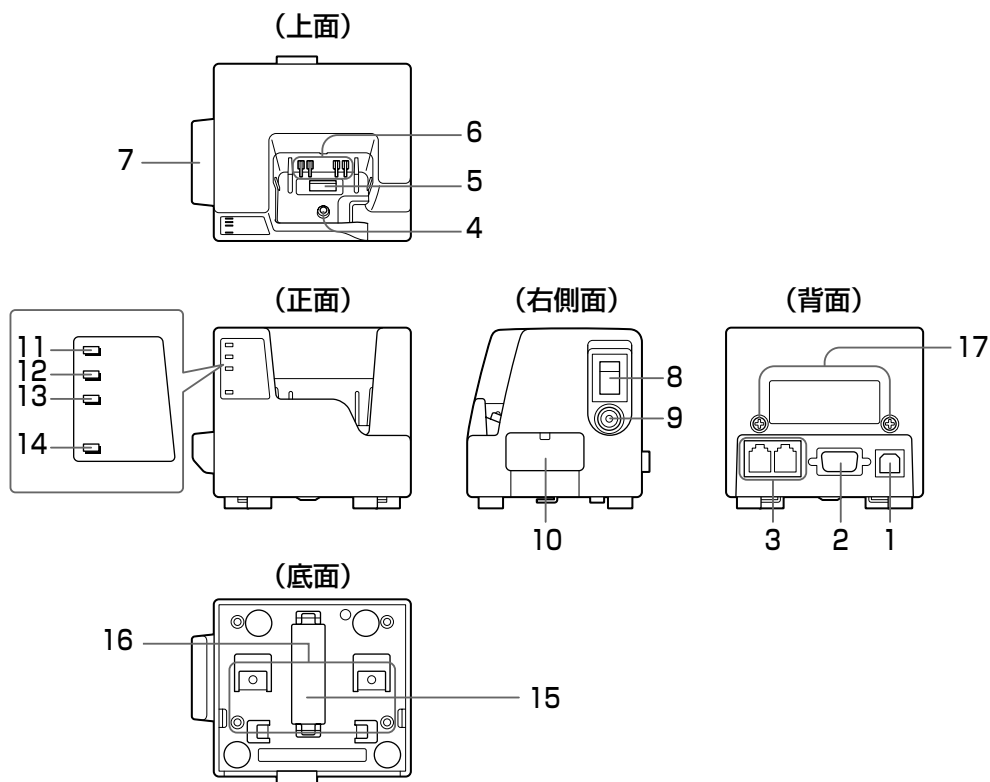
オプションのI/Oボックス(DT-365IO)はハンディターミナルを接続して、パソコン間でシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。パソコンとI/Oボックスの接続にはRS-232Cケーブル(DT-887AX/AXA)またはUSBケーブル(DT-380USB)をお使いください。

### 【データ転送】

I/Oボックスのキャッシュメモリを使用して、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。

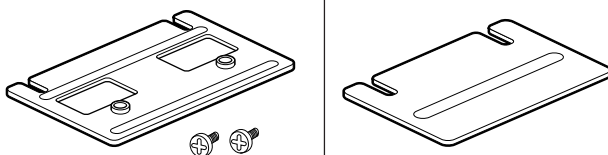
I/Oボックスのキャッシュメモリを使用することにより、ハンディターミナルとI/Oボックス間でデータを高速転送します。そのためハンディターミナルは、瞬時に通信を完了し業務を再開することができます。

## 各部の名称とはたらき



### 付属品

#### <接続用アタッチメント>



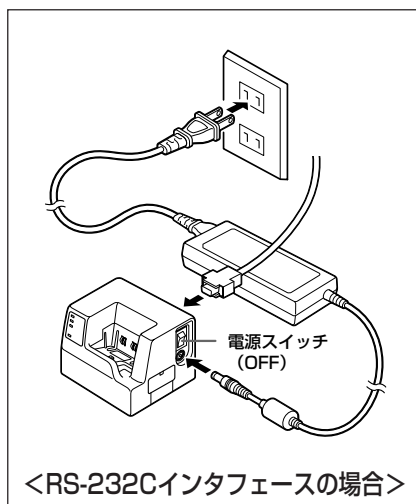


1	USBインタフェース	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	RS232Cインタフェース	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。
3	RS422インタフェース	I/Oボックス間の接続に使用します。
4	本体装着用検知スイッチ	ハンディターミナル本体が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
5	赤外線インタフェース(赤外線通信部)	非接触型赤外線通信部です。ハンディターミナル本体との通信に使用します。
6	給電端子	ハンディターミナルへ電源を供給する端子です。
7	連結コネクタ(OUT)	RS422ケーブルを使用せずI/Oボックス間を接続する場合に、連結コネクタ(IN)へ差し込みます(P.28参照)。
8	電源スイッチ	電源をON/OFFするスイッチです。
9	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
10	連結コネクタ(IN)	RS422ケーブルを使用せずI/Oボックス間を接続する場合に、連結コネクタ(OUT)を差し込みます(P.28参照)。
11	メモリ状態表示用LED	I/Oボックス内のメモリ状態を表示します。 消灯：メモリに空き容量が有り、メモリ内にデータが無し。 緑色点灯：メモリに空き容量が有り、メモリ内にデータが有り。 赤色点灯：メモリに空き容量が無く、メモリ内にデータが有り。 橙色点灯：メモリが未フォーマット状態。
12	システム稼働表示用LED	システムが正しく稼働していることを表示します。 ハンディターミナル本体の装着と関係なく、システムの稼働状態/システムとの通信可否を表示します。 消灯：システムが稼働していません。 緑色点灯：システムが稼働しています。 緑色点滅：システムが稼働し、I/Oボックスがシステムと通信中です。 赤色点灯：システムと通信するための情報が設定されていません。 赤色点滅(短)：システムと通信するための情報を設定していません。 赤色点滅(長)：システムと通信するための情報の設定に失敗しました。 橙色点灯：I/Oボックス内のシステムが異常です。 橙色点滅：I/Oボックス内のシステムを修正しています。
13	通信状態表示用LED	ハンディターミナルが通信を行っていることを表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。 緑色点灯：通信準備中です。 赤色点灯：I/Oボックス間の接続が異常です。
14	電源表示用LED	電源の状態、ハンディターミナル本体の装着状態を表示します。 消灯：電源OFF 赤色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体は非装着です。 緑色点灯：電源ON、ハンディターミナル本体が正常に装着されています。 橙色点灯：I/Oボックスが故障しています。
15	DIPスイッチ	各種仕様の設定を行うスイッチです。
16	接続用アタッチメント	I/Oボックスを2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。(連結用コネクタを使用する場合)
17	取り付け部	

## I/Oボックスの電源の取り付け方と接続

I/Oボックスの電源は、I/Oボックスに別売の専用ACアダプタを使用してください。ハンディターミナルとデータ通信をする前に必ずI/OボックスとACアダプタを接続してください。ハンディターミナルへの電源はI/Oボックスから供給されます。

- 1 I/Oボックスの電源スイッチがOFFであることを確認してからI/Oボックスの側面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。
- 2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。
- 3 I/Oボックス、パソコンの電源スイッチがOFFであることを確認してからI/Oボックスの背面にあるRS-232Cインタフェース又はUSBインタフェース(キャップをはずす)とパソコンなどをRS-232Cケーブル(DT-887AX/AXA)又はUSBケーブル(DT-380USB)で接続します。



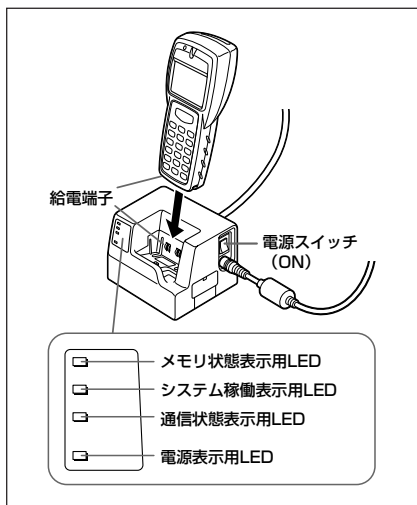
RS-232Cインタフェース(DT-887AX/AXA)又はUSBインタフェース(DT-380USB)を使わないときはキャップを付けてください。

4 電源スイッチをONにします。  
I/Oボックスの電源表示用LEDが、赤色に点灯します。

5 ハンディターミナル底面の赤外線通信部とI/Oボックスの赤外線通信部が密着するように置きます。

I/Oボックスの電源表示用LEDが、緑色に点灯します。

- ・システムが正しく稼働し、通信状態または通信待ち(2台以上のI/Oボックス接続時)になると、システム稼働表示用LEDが緑色点灯します。
- ・通信を始めると、通信状態表示用LEDが緑色点滅します。



### 使用上のご注意

本機の赤外線通信機能では、高感度の通信素子を使用しております。

通信を良好に行なうために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話など)のご使用は避けてください。

これらの機器をご使用になる場合は、本機から離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)ご使用ください。

I/Oボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。

ショートさせると故障の原因となります。

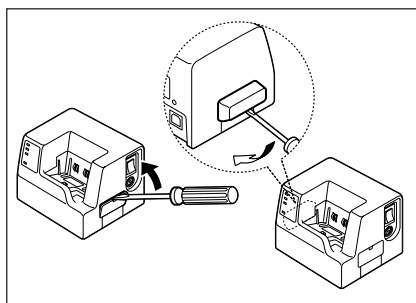
## I/Oボックス2台以上の接続

I/Oボックス2台以上の接続方法として、連結用コネクタを使用してI/Oボックスを直接接続する方法（連結接続）と、モジュラーケーブルを使用して離れた場所にあるI/Oボックスを接続する方法（連鎖接続）があります。また、連結コネクタの使用とモジュラーケーブルの使用の組み合わせで、多彩なレイアウトが可能です。

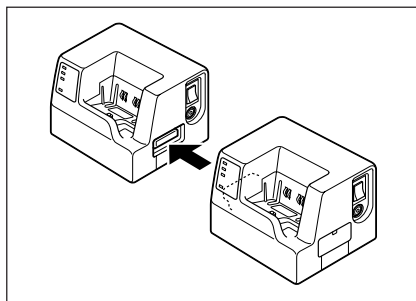
### 連結コネクタによる2台以上の接続

付属のアタッチメントとネジを使用して接続します。

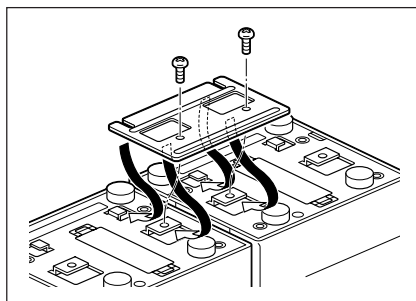
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



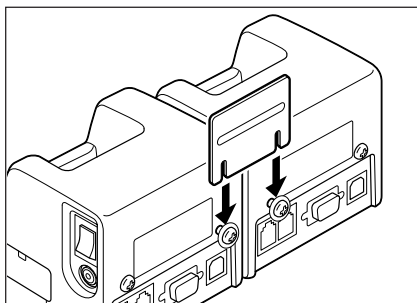
- 2 接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。  
同様に最大5台まで接続することができます。

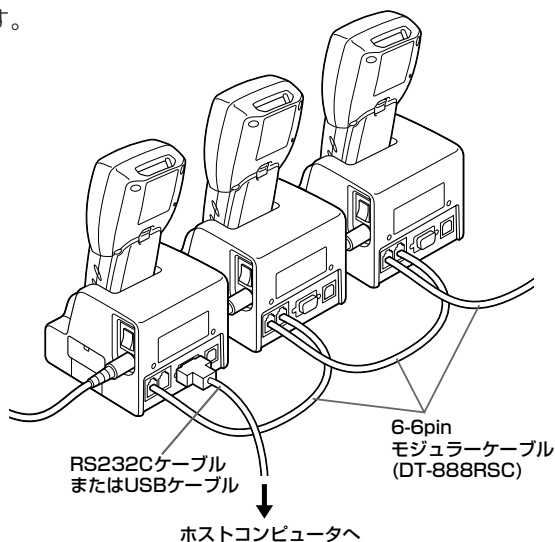


- 4 背面にあるネジをゆるめ、接続用アタッチメントをスライドさせ取り付けます。取り付け後、ネジをしめ固定します。



### モジュラーケーブルを使用した接続

ホストコンピュータに近い方のI/Oボックスの「C-OUT」と、次に接続したいI/Oボックスの「C-IN」を接続します。



### 使用上のご注意

オプションの6-6pinモジュラーケーブル(DT-888RSC)または、連結用コネクタを使うことにより、最大30台までI/Oボックスを接続できます。

※連結用コネクタによる接続は最大5台までです。5台以上接続する場合は、モジュラーケーブルを使用してください。

## DIPスイッチの設定

I/Oボックスの底面にDIPスイッチがあります。

各々のスイッチのON/OFFで仕様を設定できます。電源をOFFにしてから設定してください。

未使用 (OFFに固定)

未使用 (ONに固定)

未使用 (OFFに固定)

I/Oボックスとホストコンピュータ間の通信速度 (RS232C接続時のみ有効)

内容	6	7	8
2,400bps	OFF	OFF	OFF
4,800bps	ON	OFF	OFF
9,600bps	OFF	ON	OFF
19,200bps	ON	ON	OFF
38,400bps	OFF	OFF	ON
57,600bps	ON	OFF	ON
115,200bps *	OFF	ON	ON

連鎖及び連結時の終端設定

内容	5
中間に接続	OFF
連鎖及び連結無/終端 *	ON

接続方法設定

内容	3	4
ホストコンピュータと接続 *	OFF	OFF
連鎖及び連結の中間/終端に接続ON	OFF	OFF

本体とI/Oボックスの通信速度設定

内容	1	2
38,400bps	OFF	OFF
115,200bps	ON	OFF
4Mbps *	ON	ON

\* 初期設定の状態を示しています。

### 使用上のご注意

- ・その他は検査など特殊なモードであり、正常に動作しませんので設定しないでください。

# I/Oボックスの仕様

## 1. メモリ

RAM	: 4MB (1chip:ユーザーエリア用 1.9MB)
FROM	: 2MB (1chip:ユーザーエリア用 1.8MB)

## 2. 赤外線通信仕様

インタフェース	: 赤外線インタフェース
規格	: IrDA Ver1.1準拠
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 9,600/38,400/115,200bps (SIR)/4Mbps (FIR)

## 3. RS-232C仕様

通信方式	: 全二重
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 2,400~115,200bps

## 4. RS-422仕様

通信方式	: 全二重
同期方式	: 調歩同期
伝送速度	: 230,400bps

## 5. USB仕様

規格	: USB Ver1.1
伝送速度	: 12Mbps (MAX)

## 6. 電源部

使用電源	: 専用ACアダプタ
消費電流	: DC12V 約1400mA
ハンディターミナル出力	: DC5V 300mA (MAX)
連結コネクタ出力	: DC12V 1100mA (MAX)
副電池	: リチウム2次電池×1 (内蔵)
副電池寿命	: 72h (ACアダプタからの入力がない場合)

## 7. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120A
入力	: AC100-240V/50-60Hz 98-115VA
出力	: DC12V 3500mA

## 8. 機能

: 赤外線インタフェース
: RS-232Cインタフェース
: RS-422インタフェース
: USBインタフェース

## 9. 外形寸法・重量

外形寸法	: 約90(幅)×80(奥行)×81(高さ)mm
重量	: 約350g

## 10. 動作環境

動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 30~80% RH (結露なきこと)

## カシオ計算機問い合わせ先 (平成14年10月現在)

### 商品についてのご相談

●モバイル国内営業統轄部 ☎03-5334-4638(代) 〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

#### 法人第一営業部

〒151-8543

☎03-5334-4534

東京都渋谷区本町 1-6-2

#### 法人第二営業部

〒151-8543

☎03-5334-4866

東京都渋谷区本町 1-6-2

#### 西日本営業部

〒541-0056

☎06-6243-1717

大阪市中央区久太郎町 3-6-8 御堂筋ダイワビル7F

#### 名古屋営業所

〒060-0031

☎052-324-2104

名古屋市中区正木 3-9-27 NEC金山ビル5F

### 修理についてのご相談

■アフターサービスについては、お買い上げの販売店または下記のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

### カシオテクノ・サービスステーション

#### 北日本カスタマーサービスセンター

仙台 ☎022-293-0419

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-1-35

#### 西日本カスタマーサービスセンター

大阪 ☎06-6243-6216

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-6-8

#### 首都圏カスタマーサービスセンター

東京 ☎03-5294-7022

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-18

#### 南日本カスタマーサービスセンター

福岡 ☎092-413-6008

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-16-23

#### 中部カスタマーサービスセンター

名古屋 ☎052-324-2165

〒460-0024 名古屋市中区正木3-9-27

※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。